

コレステロール過飽和人工胆汁を用いて、胆汁中脂質組成の変化が、コレステロール結晶析出過程に及ぼす影響を吸光度を用いた評価で比較し、その作用機序をコレステロール担送粒子の物理化学的安定性の変化から検証し、結晶析出促進効果を相対的に比較検討した。親水性リン脂質の置換は、ベジクル中の C/P 比を上昇させることにより脆弱化させ、劇的に結晶析出を促進した。Con A 結合蛋白添加により、結晶析出は有意に促進されたが、脂質分布動態の変化によっているものではないことが明らかとなり、これはベジクルの融合能の変化といった他の機序によると考えられた。親水性胆汁酸の結晶析出抑制の機序は、液晶形成によるものであり、その効果は、胆汁酸種により、有意な差はなかった。胆汁脂質組成は、コレステロール結晶析出に大きく影響を与えており、その制御は、胆石症の治療および予防に発展していくものと示唆された。

13. Angiotensin II type 1 receptor expression in human pancreatic cancer and growth inhibition

by angiotensin II type 1 receptor antagonist
(膵癌における Angiotensin II type 1 receptor (AT1) の発現と、AT1 antagonist による膵癌細胞株の増殖抑制)

藤本佳史 (内科学第一)

【目的】膵癌における Angiotensin II type 1 receptor (AT1) の発現とその働きを検討した。

【対象と方法】手術的に切除された膵癌とヒト膵癌細胞株 3 株を対象とした。1. 切除組織における AT1 の発現を RT-PCR と免疫染色で検討した。2. ヒト膵癌細胞株における AT1 の発現を RT-PCR, Western Blotting, および免疫蛍光染色で検討した。3. Ang-II と膵癌細胞の結合能を Binding assay で検討した。4. AT1 antagonist (L-158, 809) による増殖能の変化を、cell counting kit で検討した。

【結果】1. 切除膵癌の 54% に AT1 の発現を認めた。2. ヒト膵癌細胞株 3 株は、いずれも AT1 を発現し細胞膜と細胞質に局在していた。3. これらは Ang-II に特異的な受容体であった。4. 膵癌細胞の増殖は L-158, 809 の濃度依存性に抑制された。